

「S.E.N.S 養成カリキュラム（2012 年度版）」シラバス

C. 指 導

◇ 行動面の指導（6時間：2P）

【 概 要 】

教室で子どもが示す行動上のつまずき（授業への参加困難、多動、衝動性、パニック、ルール理解や友人関係の困難など）について、その理解と支援に必要な基礎知識を概説する。行動面のアセスメントについても説明する。

応用行動分析の考え方に基づいて、実態把握のための行動観察、行動の変化をとらえるための記録方法、教室場面で役立つ指導技法の原理について説明する。また、学校における支援体制や学校と家庭の連携、チームアプローチのあり方についても述べる。

【 キーワード 】

応用行動分析、行動観察、行動の ABC 分析、強化スケジュール、トークンエコノミー、レスポンスコスト、タイムアウト、維持・般化

【 到達目標と評価 】

- ①「発達障害」にみられる行動上のつまずきの具体像とその原因について述べることができる。
- ②行動についてのアセスメント、観察方法と記録方法について説明することができる。
- ③応用行動分析の基本的な原理と概念について説明することができる。
- ④行動上のつまずきに対処するためのさまざまな指導技法について説明することができる。
- ⑤教室場面における環境の設定や子どもへの接し方について説明できる。
- ⑥学校における支援体制や学校と家庭の連携、チームアプローチのあり方について述べるすることができる。